

巻頭言

京都先端科学大学 経済経営学部学会
学会長 西村 周三

大学創立 50 周年にあたる 2019 年 4 月に、京都学園大学は校名を変更し、京都先端科学大学となって生まれ変わりました。また、校名変更在先がけて、2015 年 4 月には、本学経済経営学部は太秦キャンパスへ移転しております。

こういった節目をとらえて、本学部の学会誌を一新し、『京都先端科学大学 経済経営学部論集』として再スタートすることになりました。

このたび創刊記念号を新たに刊行するに至ったのは、ただ今回の校名変更、キャンパスの移転だけを理由とするものではありません。一昨年（2018 年）3 月に就任した本学園の理事長永守重信は、「10 年でこの大学を世界ランキングに」という強力なメッセージを出しました。今回の論集は、その大半がリベラル・アーツに属する分野の研究成果なので、「世界ランキング」という目標とは若干距離があります。したがって、理事長の意気込みに応えるためには、本学部および本学会は大きく飛躍する必要があると考えます。

リベラル・アーツの分野は、いま世界規模で大きな転機を迎えています。短期的な目標が比較的明確な理工系や、国家試験を目標とする専門分野と異なり、研究者も学生諸君も、目先の目標の設定が難しい分野です。

しかしながら、この分野の教育内容は近年次第に変わりつつあります。アクティブ・ラーニングの普及や PBL の導入によって、新しい地平へむけて活動に踏み出しています。研究面においても、人文、社会科学分野の新しい地平を開くべく研究者が模索を始めており、その成果も本論集に反映できることを願っています。

本号には、経済経営学部に所属する経済および経営プロパー教員の専門論文だけではなく、それ以外の多様な領域にわたる教員の優れた研究論文が掲載されています。今後、本学会は、研究論文の水準を高めるために、意欲的にさまざまな試みをする予定です。査読制度の導入、英文比率のアップだけではなく、さらに英文雑誌の新設などの改革を進め、わが国はもちろん世界をリードする専門誌として発展させる決意です。

